



NEDO事業 AR (Accompany Runner)

2026年4月

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
スタートアップ支援部

市村 慶信

株式会社プロメテウス
代表取締役



大学卒業後、国内電機メーカーの半導体販社に入社。営業担当として業務を通じて電子機器製造に関連するサプライチェーンの理解を深めた。その後、2007年に家業の電子部品商社に転職。傷んだ経営の立て直しを行いながらベンチャー企業への経営支援や提案を実施。

2014年に電子機器を中心とするハードウェアの事業化支援コンサルティングを行う株式会社プロメテウスを創業し、スタートアップ、非製造業の事業会社を中心にプロジェクト内のメンバーとして開発・量産支援だけでなく、事業開発を中心にサポートを実施。

上記の経験をベースに筑波大学での起業家育成プログラムのメンターやスタートアップアクセラレーションプログラムのディレクターなどで創業前から事業計画含めたビジネスプラン策定や課題解決に向けたアクションプランの提案などのアドバイスを行っている。

小高 大祐

株式会社日本能率協会コンサルティング(JMAC)
R&Dコンサルティング事業本部
技術・開発戦略ユニット チーフ・コンサルタント



【略歴】

2017年 大学院で工学系研究科を修了
2017年 (株)日本能率協会コンサルティング入社
2020年 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)出向
2022年 (株)日本能率協会コンサルティング 帰任
2024年 同チーフ・コンサルタント

ものづくり企業を中心とした事業開発領域のコンサルティングに従事。特に、技術戦略策定、技術を核にした新規事業創出に取り組む。これまでに、自動車、電機、建設、化学業界等に対してコンサルティングを実施。

近年は、弊社共同運営の先端技術商業化アクセラレーター合同会社(ACAT LLC)の活動にも参画し、先端技術の商業化に向けたスタートアップ創出支援や大企業とスタートアップの連携による事業シナジーの創出、オープンイノベーション活動にも取り組んでいる。

【自己PR】

研究開発の成果である技術の強みを社会や顧客の嬉しさにつながるストーリーに変換し、価値が社会に浸透・定着するよう泥臭く奔走します。

加々美 綾乃

CIC Japan 合同会社
CIC Institute アシスタント・ディレクター



専門は分子生物学・遺伝学。

博士(理学)取得後、文部科学省に入省しライフサイエンス分野の研究開発政策や日本医療研究開発機構(AMED)の設立、初等中等教育のICT化などに携わる。2017年にマサチューセッツ工科大学System Design and Management専攻(修士課程)に留学し、スタートアップ・エコシステムの研究に取り組む。修士論文は「日米のバイオテック・スタートアップ・エコシステムの比較分析」。

2019年に帰国し、科学技術・イノベーション政策全般や核融合研究開発の担当を経て、2021年7月よりCICに参画。

現在、CIC Institute アシスタント・ディレクターとして、ライフサイエンス分野を中心にスタートアップの成長支援プログラムや海外展開支援プログラム等を担当。

東京大学理学部生物化学科卒業。同大学大学院理学系研究科生物化学専攻修士課程修了。同博士課程単位取得退学。

神谷 誠

Openpath株式会社 代表取締役CEO

製造業での製品開発・海外プロジェクト管理、経営コンサルファームでの新規事業立ち上げ・業務改革、筑波大学でのアントレプレナーシップ教員としての起業家教育や数々のDeeptech発掘・育成を経て、2024年9月より現職。企業での新規事業支援6社、インド工科大学でのスタートアップアドバイザーなど、国内・国外の新価値創造に注力

➤ キャリア

- 三菱重工グループなどで、産業機械の自動運転（バイワイヤ）開発・プロジェクト管理に従事
- 経営コンサルファームである、株式会社メディアオクリタスにて、新規事業構築や開発プロセス改革に従事
- 筑波大学准教授として、学生の起業家教育や教員の研究ベースDeeptech創出に従事
- Openpath株式会社にて、2024年9月より新価値創造に注力

➤ 教育

- 2012年、アリゾナ大学航空宇宙学科修士課程修了
- 2016年、東京大学エグゼクティブマネジメントプログラム修了
- 2020年、ソフトバンクアカデミア（孫正義後継者コミュニティ）入校

➤ 趣味

- 空手でラスベガスの国際大会にて優勝。NPO法人を立ち上げ海外で武道教育普及尽力
- 自転車旅行として、南米大陸を縦断



北原 宏和

アーキタイプベンチャーズ
パートナー



総務省にて地域活性化、Boston Consulting Groupにて情報通信、金融、製造などの幅広い業種での中期経営計画策定、新規事業開発プロジェクトに従事。2019年にアーキタイプベンチャーズに参画し、B2B Technology領域のスタートアップに投資。
主な投資先: Resilire, Sotas, EX4Energy, miibio, 次世代革新炉スタートアップ(社名非公開)

ファイルフォース株式会社 取締役
一般社団法人科学と金融による未来創造イニシアティブ 理事

東京大学法学部、Carnegie Mellon University Heinz College of Public Management, University of Southern California Gould School of Law卒業

九頭龍 雄一郎

株式会社Clay Tech
代表取締役



1978年東京都生まれ。東京工業大学(現:東京科学大学)大学院電気電子工学専攻修士課程卒。

日本の大企業の開発現場からシリコンバレーでのスタートアップ立ち上げまで幅広い経験を持つ。

現在株式会社Clay Tech代表取締役、株式会社スイッチサイエンス取締役、株式会社2nd Community取締役、株式会社hacomono技術顧問、東北大学特任教授(客員)、東京科学大学非常勤講師、武蔵野美術大学非常勤講師、東京都立新宿山吹高校非常勤講師、その他数々の企業で顧問及びアドバイザーを務める。

“始動”にて選抜・メンター両面の経験あり。

ヤマハ株式会社、Miselu、Triple W(現Dfree)など。

趣味はベース、5児の父。

熊谷 孝幸

ティーエスアイ株式会社 代表取締役社長



大阪大学大学院博士課程修了。専門分野は光学・物性物理。独立行政法人日本学術振興会特別研究員(DC1)として研究を行いながら、複数の大学発ベンチャーの立ち上げに携わる。

2015年ティーエスアイ株式会社の前身であるテクノロジーシードインキュベーション株式会社に入社。執行役員、取締役を経て2021年11月より代表取締役社長。事業化及び事業成長に従事し、業務内容はベンチャー投資及びハンズオン支援、JSTのSTART事業プロモーター、NEDOの事業カタライザー・AR、大手企業とベンチャーのマッチング、M&Aアドバイザー、資金調達支援、海外での事業開発サポートなど。株式会社JAVIS Venturesの代表取締役としてベトナムを始めとする東南アジアのベンチャー企業への投資育成を行っている。

近藤 玄大

Phileas合同会社 代表



専門はロボティクス、ITサービス。

2011年、ソニー株式会社に入社し、ロボティクス技術をスタートアップ流に新規事業化するプロジェクトに複数携わる。2014年、exiii株式会社を創業し、大学での研究テーマ「筋電義手」をオープンソースプロジェクトとして事業化。2016年以降はNPO法人Mission ARM Japanに移り、上肢障害に関連するプロトタイプ開発を行い、並行してユーザーのコミュニティづくりにも取り組む。また、再びソニーおよび華為技術日本株式会社でロボティクス分野の新規事業開発に携わる。

2020年以降はITサービス分野に転身。株式会社ELEMENTSでは、プロダクトオーナーとして、SaaSモデルの顔認証サービスを立ち上げ、東証グロース上場を経て、単月黒字化を達成。2024年からはGO株式会社にてプロダクトマネージャーとして会計をはじめとする社内バックオフィス機能のシステム化を担当し、上場を目指している。

副業として、2017年より筑波大学においてJST EDGE-NEXTやSCOREのメンターを担当。また、2018年より株式会社2020において幅広くディープテックおよびスタートアップの動向を分析している。

東京大学工学部システム創成学科卒業。同大学大学院工学系精密機械工学専攻修士課程修了。University of California, Berkeley留学。

日本機械学会三浦賞、James Dyson Award Runners-up、日本メディア芸術祭 優秀賞、iF design Gold award、グッドデザイン賞 金賞、Ars Electronica Honorary Mention & STARTS Prize、外務省日本ブランド発信事業、Google Impact Challenge Finalist、St. Gallen Symposium Leader of Tomorrow

近藤 晋

株式会社日本能率協会コンサルティング
執行役員
R&Dコンサルティング事業本部 本部長
シニア・コンサルタント



【略歴】

日本大学大学院理工学研究科機械工学専攻 修了
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 修了
東京大学大学院工学研究科 MOTコース 単位認定

大成建設株式会社の機械部門を経て、株式会社日本能率協会コンサルティングに入社、現在に至る。NEDO SSAフェロー

【実績】

「事業成果につながる技術戦略の策定」をメインテーマとして、「技術棚卸」、「技術評価とコア技術設定」、「コア技術を起点とした中長期の技術・事業開発計画の策定」等のコンサルティングを自動車、機械、電機、精密、素材系企業など様々な業界で実施。また研究開発成果を起点とした新事業創出のコンサルティングについても多くの実績がある。

また、スタートアップの技術商業化のためのアクセラレーター“ACAT LLC”の運営も行っており、自身もスタートアップの立上げ及び運営を行っている。

【著書・論文】

「コア技術を活用した新規事業テーマの発掘、進め方」、株式会社技術情報協会、2018年(共著)
「技術の用途開発 ～テクノロジー・プッシュ型の新事業創造に関する研究～」第59回全国能率大会 表彰論文、2007年 他

【自己PR】

「あらゆる“技術”と“社会課題”を繋げる」を信条にこれまで様々な企業様のお手伝いをしてきました。優れた技術シーズを保有する皆様のご活躍が日本経済活性化のキーになると考えています。共に悩み、意見を戦わせ、新たな事業を成功させるご支援をさせて頂きたいと思っております。宜しくお願い致します。

三枝 裕和

SaiLogic株式会社
代表取締役社長



東京大学大学院経済学研究科(企業・市場専攻)修士課程修了。

株式会社日本総合研究所やPwCアドバイザリー合同会社で経営戦略立案、新規事業開発、事業再生など幅広くコンサルティングを経験した後、リクルートグループに入社。Webマーケティングの新規事業戦略担当マネージャーとして事業を推進。

現在はSaiLogic株式会社を立ち上げ、コンサルティングやベンチャー企業への出資・育成を手掛けながら、家業であるサエグサコオート工業を二代目として引き継ぎ、経営革新に日々取り組んでいる。

志々目 裕太

ユアギルド合同会社
共同代表



ノバルティスファーマで新医薬品の営業活動を経て、グラスゴー大学アダムスミスビジネススクールMBA(戦略専攻)取得。医療領域のインキュベーターでスタートアップ投資や新規事業開発を担当。その後、トヨタ自動車では事業戦略、新規事業開発、プロダクトマネジメント、業務DXに従事し、データプラットフォームサービスやモビリティ、金融、保険、物流、環境分野などで新規サービスの立ち上げと商用化を推進。これまでにJ-Startupを含む大学発スタートアップの新規創出や事業会社で複数の新規プロダクトの上市を達成。

現在はユアギルド合同会社を創業し、大学研究成果の事業化検討、シード・アーリー期スタートアップの資金調達支援および事業計画策定、海外企業の国内参入支援、事業会社の新規事業開発・マーケティング支援に従事。ヘルスケア／医療機器／モビリティ・自動運転／グリーンテック／インフラ／AI・IoTサービスなど幅広くディープテック分野を手掛ける。

角田 皓一

角田皓一会計事務所
代表 税理士・中小企業診断士



略歴

- ✓ 同志社大学大学院 法律研究科を修了後、大手税理士法人、デロイトトーマツを経て、会計事務所を創業
- ✓ バイオコミュニティ関西 (BioCK) アドバイザー、OIH Startup Acceleration Program (OSAP) 専門家メンター、NEDO SSAフェロー

経験 / 実績

- ✓ デロイトトーマツでは、新規事業の参入戦略の策定、スタートアップの資金調達の支援、CVCの立上げや投資時のデューデリジェンス、アクセラレーションプログラムの運営等、イノベーションを軸としてスタートアップ / 大企業 / 官公庁向けのコンサルティング業務に従事
- ✓ 現職では、技術系スタートアップの事業 / 財務アドバイザー、大学発スタートアップの創出に向けた伴走支援(起業支援)、再生医療のサプライチェーン検討等に従事

支援スタイル

- ✓ シード・アーリー期のスタートアップや起業のご検討者(研究者等)に、長く寄り添って伴走支援をしたいという思いで、自身の会計事務所を創業しました
- ✓ 土業とコンサルの経験を活かして、事業開発(仮説の構築や検証等)のご支援は勿論、資金調達や会社立上げ・運営に係る実務(コーポレート機能全般)のご支援もさせていただきます

瀬川 秀樹

クリエイブル 代表



(株)リコーに長年勤め、光ディスクのフォトリソグラフィー技術者、光ディスクの国際標準化委員会(ISO)の日本代表団メンバー、技術企画、シリコンバレーにおけるCVC(Corporate Venture Capital)と新規事業の立ち上げ／撤退、新規事業開発センター副所長、未来技術総合研究センター所長などを歴任。

また、BOP(Base of the Pyramid(世界の貧困層))の project を立ち上げ、インドの農村部での活動も行ってきた。
常に新しいコトや多くの新規事業の立ち上げに挑戦し続けた。

2014年に(株)リコーを早期退職し、「新規事業のメンタリング」「若手育成」などを行う Creable(クリエイブル)を開設。多くのメンタリング・講演・研修・ワークショップ等を行っている。

イノベーションをキーワードにした4コマ漫画やコラムなどの執筆も行なっている。

世良 信一郎

株式会社イーフープ 代表取締役



上智大学法学部法律学科卒業後、大手特許事務所にて特許から商標まで知財全般に携わった後、ベンチャー企業を対象とした知財コンサルティングに従事。2009年に独立。

独立後は、特許事務所の経験を活かし、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス（SFC）、デジタルハリウッド、経産省の新事業創出のための目利き・支援人材育成等事業、神奈川県のかながわ成長産業イノベーション事業、他にてスタートアップ支援のキャリアを重ね、経産省系のアドバイザーを中心に、大学発スタートアップ（SU）をはじめとしたIT系、ディープテック系スタートアップを多数伴走支援している。

NEDO AR

中小企業基盤整備機構 スタートアップアドバイザー
高知大学 次世代創造センター 特任教員

自らも、取締役としてシステム開発SU、海藻陸上養殖SUの事業開発を担当しており、そのスタートアップ経営の経験も強みとして活動している。

都竹 拓磨

JICベンチャー・グロース・インベストメンツ株式会社
ライフサイエンスプロフェッショナル ベンチャーキャピタリスト



大日本住友製薬(現 住友ファーマ)にて、研究職として製品化に向けた基礎研究および品質・製造面の開発業務、研究企画に従事。その後、ベンチャーキャピタルにて日米欧のバイオテックを対象とした投資業務に関与。ライセンス案件のサーチ&エバリュエーション、国内外アカデミアとの共同研究の推進、オープンイノベーション業務にも従事。現在はJICベンチャー・グロース・インベストメンツにてライフサイエンス領域を中心に投資活動を担う。

- ・中小企業診断士、薬剤師
- ・MBA、薬学修士

所 哲哉

モザークメディカルジャパン合同会社
APACマーケティング プロダクトマネジャー



ジョンソン・エンド・ジョンソンにて、約10年間、循環器内科不整脈分野を中心に営業・安全管理・品質保証を経験。

日本の医療機器産業発展への貢献を志し、医療機器インキュベーターへ転職。大学シーズの事業開発、事業化支援(JST START 事業プロモーター)、医療・ヘルスケア領域における企業向けコンサルティング(事業機会の探索・策定、事業性評価、事業化伴走、海外展開等)、米国のIVDスタートアップ企業の日本における事業開発を実施。その後、PwCコンサルティング合同会社にて大手企業の新規事業開発支援に従事。

現職では、日本を含むAPACにおける透析関連製品のマーケティングを担当している。

京都大学工学研究科修了、筑波大学MBA-IB
中小企業診断士

根本 紘志

株式会社ディープロコア
Director, Community Design



DEEPCOREでKERNELのコミュニティデザイン・運営・アクセラレータープログラムを担当。

高校時代より産・官・学のさまざまな教育プログラム設計・運営に関わり、大学院では教育工学(成人学習理論)・科学技術政策分野(Trans Disciplinary Research)の研究に従事した。

現在も分野・年齢・地域を横断した学習・共創を生み出す活動に取り組み続けている。プロボノとして中高生向けの探究学習・アントレプレナー育成プログラムや介護×人材育成にも関わる。

東京大学法学部卒、東京大学大学院修了(学際情報学 修士)。

能登 左知

株式会社カピオン 取締役 一般社団法人カピオンエデュケーションズ 理事



(独)中小企業基盤整備機構および東京都中小企業振興公社においてインキュベーターの立ち上げならびに運営に従事。その後、2016年よりNEDOの創業支援事業に携わり、現在に至る。加えて、慶應義塾大学にて曾我弘氏と共に「起業創成論」を3年間担当。現在は中高生向けアントレプレナーシップ教育プログラムGTEを提供している。米国Kansas City Art Institute, BFA学士インダストリアルデザイン学科卒業。

著書「新版シリコンバレー流起業入門」(同友館2013)
「シリコンバレー流CXO チームビルディング」(同友館2015)。
「世界と私はビジネスで繋がっている」(VEC2021)

Ms. Noto led the launch and management of business incubation initiatives at the Organization for Small & Medium Enterprises and Regional Innovation, Japan (SMRJ), and the Tokyo Metropolitan Small and Medium Enterprise Support Center. Since 2016, she has been engaged in startup support programs at NEDO, where she continues to contribute to entrepreneurship development efforts. She also co-taught the course “Entrepreneurship Creation” with Dr. Hiromu Soga at Keio University for three years. She currently directs GTE, an entrepreneurship education program designed for middle and high school students. Ms. Noto holds a Bachelor of Fine Arts (BFA) in Industrial Design from the Kansas City Art Institute (USA).

She is the author of:
The New Silicon Valley Startup Guide (Doyukan, 2013)
Silicon Valley-Style CXO Team Building (Doyukan, 2015)
The World and I Are Connected Through Business (VEC, 2021)

橋本 遥

株式会社Convallaria（コンヴァラリア） 代表取締役



「サイエンスをビジネスに」をミッションとし、
起業家候補/スタートアップの育成や、企業向けの協業先探索支援を行う。
専門はヘルスケア・バイオテック・アグリテック分野。

<事業概要>

- 1) 研究者向け 研究の事業化プラットフォーム『Seeds-Hub』事業
- 2) 企業向け 共同研究/投資先の探索支援事業
- 3) 起業家・リーダー育成のレクチャー・ワークショップ事業

また茶道やアートの中身を取り入れた対話型の自己研鑽プログラムも提供。

DeNAでの新規事業立ち上げ、Digital Garageでのスタートアップ投資を経て
現職。

スタートアップ投資/育成や新規事業立ち上げに10年以上の経験を有する。

京都大学大学院 農学研究科 応用生命科学専攻 修士課程修了

[兼務]

京都大学「医学領域」産学連携推進機構(KUMBL) 産学連携フェロー
他 行政系の起業支援プログラム アドバイザーや審査員など複数兼務

廣川 克也

一般財団法人SFCフォーラム 事務局長 SFCフォーラムファンド ファンドマネージャー



1993年住友銀行(現三井住友銀行)入行。1998年通商産業省出向、債務保証審査事業、全国新規事業発展基盤調査事業、起業家精神涵養教材開発事業等に従事。

2000年7月銀行復帰、成長企業取引推進担当となり、ベンチャー企業、株式公開志向企業に対する将来性評価による融資業務を担当。

2004年1月同行退職、同年2月より北海道大学知的財産本部着任。

2005年12月より慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスインキュベーションマネージャーとして着任、起業家に対する事業計画作成、資金調達、販路拡大支援等を実施。

2008年4月よりKIEP研究コンソーシアム事務局長を兼任。海外学生ビジネスコンテストにアドバイザーとして参加、2009年、2010年にはGlobalTic@台湾でアジア最優秀賞、2009年I2P Global Competitionではチームを世界一に導く。

2012年より一般財団法人SFCフォーラム設立、事務局長就任。2017年よりSFCフォーラムファンド設立、ファンドマネージャー就任。(株)キングジム社外取締役(2019年～2025年)、2024年から山形大学客員教授など兼任。

福井 達雄

工学院大学
スタートアップ推進フェロー



■ 経験職種、実績

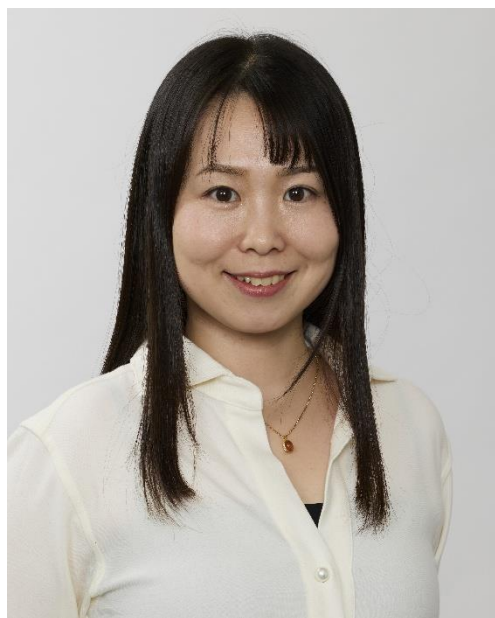
- ・ ソニー株式会社入社後、固体レーザーや光学デバイス、それら応用製品などのR&Dに従事。在職中Stanford 大学に客員研究員として留学
- ・ その後国研テック系スタートアップに転職し、経営・マネジメント層として新規事業の立ち上げにあたる。自ら上市した世界初の測定装置は新機械振興賞を受賞し、現在業界標準として広く用いられている。
- ・ 山梨大学URAとして起業支援等を手掛けたのち、山梨大発認定ベンチャーの役員就任、現職に至る

■ 自己PR

- ・ 山梨大学客員教授
- ・ NEDO技術委員、NEDO SSA(第1期)
- ・ テック系スタートアップ支援を行うとともに、JST研究成果実用化人材育成・研修の講師や、大学等にて後進の育成にもあたっている
- ・ 起業、新事業開発などの経験が豊富

藤田 真弥

株式会社サムラインキューベート
ヘルスケアアドバイザー



東京大学 医科学修士 卒業

外資製薬会社にて抗がん剤の臨床開発に従事。
その後、産業革新機構(INCJ)にてヘルスケアを中心としたベンチャー投資を担当。
内資製薬会社にてCVCの立上げ、および運用を行う。

兼任

AMED評価委員

成蹊大学 経営学部 非常勤講師

前田 信敏

NV Ventures株式会社 代表取締役社長



早稲田大学政治経済学部経済学科卒業、早稲田大学大学院商学研究科ビジネス専攻修了(MOT/MBA)。

大和企業投資株式会社、ウエルインベストメント株式会社勤務を経て、2019年NV Ventures株式会社を設立。大学発スタートアップを中心とする研究開発型スタートアップの支援に注力している。現在、新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO) 技術経営アドバイザーの他、日本原子力研究開発機構 シニアアドバイザー、信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 特任教授、ビジョンインキュベイト ベンチャーパートナー等も務める。

自己PR

『大学発スタートアップを中心とする、革新的な技術力を持つ、シード・アーリーステージの研究開発型スタートアップに対する事業支援を長年行なっています。ベンチャーキャピタルの経験を活かした資金調達支援や、経営戦略立案支援が得意です。革新的な技術を活かし、スタートアップを立ち上げたい研究者や起業家の方の良きパートナーとして、会社設立から成長加速のご支援をしたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。』

松田 淳

合同会社ALBION 代表社員



1982年生、秋田県出身、秋田県立秋田高等学校卒業、早稲田大学教育学部卒業。

大学在学中から放送作家として活動した後、株式会社アドウェイズにて新規事業の立ち上げや、CVCを管轄するアドウェイズ・ベンチャーズの取締役を務めスタートアップへの投資を担当。

その後、AI・ビッグデータ関連スタートアップDATUM STUDIOにてCFOを務めファイナンス、IPO準備を管掌し、KDDIグループへのM&AによるExitを主導。

現在は、合同会社ALBIONを通じてスタートアップへのサポート、アドバイザリー業務を行うとともに、グローバル・ブレイン株式会社Venture Partner、matsuri technologies 株式会社監査役、Allganize Holdings株式会社監査役、株式会社アロマビット監査役などを務めている。(2024年2月時点)

事業計画の立案から、ファイナンス、管理部門の立ち上げ、IPO準備、内部統制まで、創業期からIPOに向けて各フェーズにおけるコーポレート関連全般の支援を行う。投資家側、スタートアップ側、両サイドの経験を活かしてバランスの取れたサポートを心がけている。

松田 一敬

合同会社SARR
代表執行社員



預金型トークン・ステーブルコイン及び分散型IDプラットフォーム提供の
Digitalplatformer CEO。

2000年、北海道にて日本初の地方独立系VCである北海道VC設立。大学発ベンチャー第1号の設立、大学発ベンチャー上場第1号を手がける等大学等の研究成果の事業化と地域活性化を得意とする。2011年京都にSARR設立。ディープテックのスタートアップを支援。NEDO TCP(現NEP)やSMBCみらいXの立ち上げに参画。

厚労省SBIR評価委員、特許庁VC-IPASS委員、JST・RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学」プログラム・アドバイザー。製造業・環境に強いEmerald VC(スイス)アドバイザー、慶應義塾大学(経)、INSEAD(MBA)、北海道大学(医学博士)。 <https://sarr-llc.com/>

的場 諒

三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社 マネージャー



【略歴】

東北大学大学院応用化学専攻 修士課程修了

自動車部品メーカーのエンジニアとして技術・製品開発に従事

現職ではBtoB製造業を中心として、成長戦略の策定・実行、新規事業探索、生産性向上など幅広い支援活動に従事

NEDO SSA アソシエイト (スタートアップ高度専門支援人材)

【自己PR】

革新的な研究や技術が、ビジネスの世界で価値を発揮する瞬間に関われることを楽しみにしています。きれいごとにと留まらず、皆さまと一緒に課題を乗り越え、社会実装への道をご一緒させていただけますと幸甚です。

南方 郁夫

クラウド・テン株式会社 代表取締役



大阪大学 基礎工学部 情報工学研究科修了。

パナソニックで約30年間勤務。その間、本社R&D部門においてソフトウェアの研究・開発の責任者としてパソコン、EWS、ワープロ、デジタルTV、携帯電話などの事業化立ち上げを主導。国際標準化、国際コンソーシアムの創設やボードメンバーの経験も多数(DLNA、CE Linux Forum、Java Community Process、Marlin DRMなど)過去3回、合計8年間にわたってシリコンバレーでの駐在経験。

①UCバークレー EECS 客員研究員

②バークレーでの人脈がきっかけとなってシリコンバレーのスタートアップとEWS向けソフトウェアの共同開発

③米国パナソニックR&D会社のプレジデント。その間に、シリコンバレーでクラウドを活用したオンラインゲーミング事業を行う社内ベンチャーをシリコンバレーのリソースのみを使って起業

2011年末にパナソニックを退職してクラウド・テン株式会社を創業。

シリコンバレーの経験と人脈を活かして日本企業の新規事業創出やシリコンバレーの企業の日本戦略のコンサルティングを行うとともに、独自のクラウドサービスの開発、事業化に取り組んでいる。

八重樫 馨

i-BuC LLC
CEO & President



ドイツの3大化学企業 (Hoechst, BYAER, BASF) の一つHoechst社 (現在、医薬部門はSanofi社、スペシャリティケミカルはClariant社等に分離独立。) で、新事業開発、半導体用フォトレジストの国産化、半導体製造用関連機器事業 (Hewlett-Packardの技術を買収。) の立ち上げおよび国産化、日本企業との共同事業設立等を行う。

その後、リチウム電池用セパレーター、人工心肺用中空糸、水処理用脱気膜の3事業部門を持つ米国Celgard Inc. (後にセパレーター事業は旭化成、他は3Mに売却。) のマネジメント・チームとして経営に参画、日本法人セルガード株式会社設立、同社代表取締役社長兼務。リチウム一次電池向けセパレーターは当時世界一位、リチウム二次電池向けは世界二位の規模となる。また、世界最大の鉛電池用セパレーター企業Daramic Inc. をセルガードグループに迎え、同社のアジア・太平洋統括や、同グループ中国現地法人Battery Separator Shanghai Co., Ltd. の取締役も兼務する。

2006年、シリコンバレーのナノテクベンチャー企業NanoGram Corporationの上席副社長および同日本法人ナノグラム株式会社の代表取締役社長に就任。リチウムイオン電池や半導体、PV、光学素子分野等での事業開発を主導。パナソニック、シャープ、帝人、DNP、リコー等の日本企業とも共同研究を進め、その後、帝人株式会社へ売却。

2010年に、日本の産業創成を少しでもサポートすべく、大手企業の新事業創造やベンチャー企業支援のために仲間と共にi-BuCを設立しCEO & President に就任する。その他、求めに応じて、神戸大学経営学部や東京農工大学大学院工学府、北海道大学水産学部で非常勤講師を務める。

安 敬

国立大学法人 筑波大学
国際産学連携本部産学連携本部 産官学共創プロデューサー



【キャリア・実績】

2009年にHondaへ入社し、四輪部門にて研究開発業務に従事。車両企画、先行開発、量産車開発から各国の量産立ち上げまで、一気通貫での開発を10年以上にわたって経験。その後、経営企画統括部に異動し、新規事業開発プログラムの企画・運営や、社内技術シーズを活用した事業開発を担当。

2022年よりスタートアップ SUN METALON inc. に参画し、金属リサイクル装置開発プロジェクトのプロジェクトマネージャーとして、PoCおよび装置開発をリード。初号機の販売および顧客先への導入・立ち上げを経験。

2024年より現職。技術バックグラウンドと新規事業部門・スタートアップでの実務経験を活かし、10名以上の研究者に対する起業支援を実施。2025年には、支援したプロジェクトにおいてGAPファンド4件の採択実績を有する。

大企業とスタートアップ、技術xビジネスの実務経験を活かし、技術を基点とした社会課題解決、事業化・価値創出に貢献します！

【専門】

- ・工学修士（横浜国立大学）
- ・MBA（経営学修士（専門職）／グロービス経営大学院）

柳原 暁

Willsame株式会社 取締役



IT系企業を経て、スタートアップの立ち上げを経験。「Gamechanger's Studio」をコンセプトに掲げるイノベーションスタジオEDGEofにて、スタートアップや研究者、クリエイターといったイノベーターエコシステムをつくり、イノベーションを創出するハブとなる活動に事業統括として従事。大手企業、地方自治体とスタートアップの協業支援に従事。50社以上のスタートアップの事業開発支援、資金調達支援を行う。

大学発スタートアップの事業化並びに、知財、法務、資本政策に関する企業体強化の支援を通し、科学技術の社会実装に邁進するWillsame株式会社にて取締役を務める。

山田 竜也

株式会社インディージャパン 取締役 トレーニングディレクター



【支援内容&スタイル】

本プログラムに応募する方は、ユニークな技術や製品コンセプトを持っている方が多いと思います。そのユニークさを私自身のエンジニアとしての経験も活かしながら正しく理解する事から始めたいと思います。その上で、今度は顧客側の目線で見たらどんな価値があるか、誰がその価値を喜んでくれるか、顧客訪問やインタビューを繰り返しながら一緒に顧客を発見していきます。顧客への価値提案が定まったら、それをビジネスにするためのビジネスモデル作り、そして、ビジネスを具現化するための出口戦略(企業からの出資や業務提携、会社作り)等、顧客の発見から事業化までの一連の流れで各フェーズに合わせた支援をしていきます。大企業との接点も多いので、製造や販売のパートナー等でWIN/WINな関係作りも模索していきます。過去の経験からのアドバイスだけでなく、私自身、最先端の未知の領域を学びながら、価値あるものを世の中に普及させる仲間として協働していきたいので、まずは気軽にご相談ください。

【略歴&実績】

電気通信大学 機械制御工学専攻卒。航空宇宙技術研究所(現JAXA)にてカオス理論を用いたCFDコード開発に従事。電通国際情報サービスにて各種製造業のR&D部門向けに構造・振動・流体等の受託解析を行う。R&Dに特化したコンサルファームiTIDにカーブアウトし、電動工具、複写機、半導体製造装置等の製品開発支援を製品コンセプト作りから、開発、試作、評価、初期流動まで一貫して行う。その後も大手製造業のR&D部門を対象としたコンサルティングを行い。大企業における製品開発の進め方の力学を理解し、製品開発を支援するファシリテーターとしてプロジェクトを支援する。インディージャパン 創業後は、イノベティブな新規事業をテーマに、金融、メディア、通信キャリア、医療サービス、エネルギー等にも範囲を広げ、顧客開発やオープンイノベーションを支援している。

海外旅行好きで世界60カ国以上を巡る。妻と子供の4人家族で現在バックパッカーは休業中。

山本 辰久

ボーダレス・プランニング株式会社 代表取締役



境界にこだわらないボーダレスな視点から、ディープテックを中心に、ヘルスケア、IT、食品、製造、運輸、環境等の分野で、事業開発支援・人材育成を行っている。また、海外進出支援(主にアジア圏ながら、CESはじめ海外展示会含む)も行う。

【イノベーション関連実績】

- ・NEDO 技術経営アドバイザー (TCPメンター → NEP開拓コースAR)
- ・KSAC支援 (大阪産業局 スタートアップ支援事業部 コーディネーター)
- ・SMBC「未来X(mirai cross)」アドバイザー
- ・(元)大阪大学 共創機構 Innovators' Club ビジネスメンター
- ・その他過去、経産省AKATSUKI、電力会社、自治体、関西経済界組織等のスタートアップ支援・起業教育プログラムにて、メンターを歴任。

【過去の職歴】(産官学の全てを正職員として経験)

- ・横浜市役所 都市計画局 (まちづくり・交通政策)
- ・株式会社日本総合研究所 (官庁・自治体の支援、ビジネスモデル特許など)
- ・神戸大学 経営学部 助教授(2年間の出向)
- ・京都大学 大学院工学研究科 交通土木工学専攻修了
- ・米国ボストン大学 大学院 都市計画学科修了(MCP)

大阪市生まれ。グラングリーン大阪(大阪駅前)が拠点ですが、どこでも出かけます！

LinkedIn : <https://www.linkedin.com/in/tatsuhisayamamoto/>

山本 哲也

株式会社ライズ・コンサルティング・グループ アソシエイトパートナー



電気通信大学 電気通信学部
情報通信工学科 卒業

グロービス経営大学院 経営研究科
経営学専攻 (MBA) 修了

NEDO Startup Supporters
Academy (SSA) 修了

■ 研究開発・新規事業創出

- NTT入社後、ロボットビジョン、IoT、ビッグデータ解析などの研究開発に従事。その後、産官学連携やスタートアップ出資を通じたオープンイノベーションや新事業開発をリード
 - 経済産業省 次世代検索・解析技術の基盤的研究開発の採択テーマ研究者
 - NICT ソーシャル・ビッグデータ利活用・基盤技術の研究開発の採択テーマ代表研究者
 - スマートIoT推進フォーラム 異分野データ連携プロジェクト部会委員
 - 異業種4社(オムロン、住友電工、三菱レイヨン、NTT)によるJVの立ち上げに参画
 - スタートアップとの資本業務提携に関する事業企画、ビジネスDD、対外交渉を担当 等

■ 経営コンサルティング

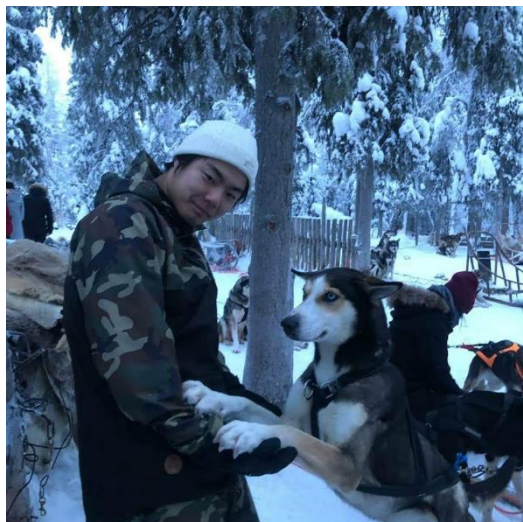
- 現在は総合コンサルティングファームにおいて、大企業の経営課題に対し、テクノロジーを軸とした事業立案やDX推進の戦略設計から実行フェーズまで一気通貫で伴走支援
 - 主なテーマ: 事業戦略、技術戦略、新事業開発、生成AI活用、DX推進、営業改革
 - 主なインダストリー: 通信・IT、建設・不動産、製造、食品・飲料、製薬・ヘルスケア

■ DEEP-TECHスタートアップ起業支援

- これまで培ってきた技術と経営の知見や人的ネットワークを活かし、研究者や学生、起業家の皆さんと同じ目線で課題を捉え、共に考え、一緒に“ワクワク”しながら事業化をサポート
 - ディープテック起業家創出プログラム「D-BREAK Seed」最優秀・BlueSeed賞のダブル受賞
 - 福島イノベーション創出プラットフォーム事業 Fukushima Tech Create プログラム メンター
 - 大阪府 スタートアップ育成支援事業 SEEDS LINK OSAKA・KANSAI アドバイザー 等

横山 和輝

株式会社プロッセル 代表取締役CEO



1998年生、富山県出身、新潟市育ち。長岡工業高等専門学校卒業、同校専攻科修了する。

高専在学中のフィンランド留学をきっかけにスカウト型採用サービスProssell、オンラインビジコンを運営する株式会社プロッセルを2020年6月設立。

2020年8月には長岡市役所に入庁し2020年10月に新潟大学大学院に入学。

2021年5月にJ-StartupNiigataに選出。

2022年5月に一般財団法人高専人会理事に就任。

渡邊 貴史

リベラルアーツ合同会社 代表社員
中小基盤整備機構 中小企業アドバイザー(スタートアップ)
日本スタートアップ監査役等協会(JSASA) 会員

【略歴】

日米のコンサルティングファーム(製薬、金融、IT、製造、公共、大学、監査法人等)で経営戦略策定、事業計画策定、事業戦略策定、業務改善等の支援、メガスタートアップ(AI、業務支援SaaS)、PE/CVC(AI、通信、ハードウェア、SaaS)、中小企業経営等を経て独立。日系大手企業中心に新規事業開発、SU投資等を支援。国や自治体の委員やアドバイザー等も受嘱。社外関連でもスタートアップの顧問/アドバイザーとして経営戦略支援(事業計画・資本政策・資金調達・知財・広報・営業・採用・労務等)を多数の事績あり。

【公務関連】

2025年6月 神奈川県アクセラレーションプログラム“KSAP” 伴走メンター(事業モデル/ファイナンス) (現任)
2025年6月 中小企業基盤整備機構 中小企業アドバイザー(スタートアップ) (現任)
2024年6月 内閣府沖縄総合事務局 / 沖縄県 J-Startup OKINAWA 推薦委員(現任)
2024年12月 デジタル庁 デジタル推進委員 (現任)
2024年4月 総務省 地域情報化アドバイザー (現任)
2023年10月 内閣府認定バイオコミュニティ 沖縄県バイオアドバイザー (現任)
2020年7月 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 NEPCATライザー (現任)

【講演】

2024年12月 北九州市立大学 大学院 第1回 起業家育成プログラム 基調講演
2024年5月 九州工業大学 工学部 1年生教養科目 自己探求・アントレプレナーシップ入門
“起業に必要な知識と経験とセンス”
2023年10月 沖縄県 スタートアップ・エコシステム構築支援事業 経済資本部会 勉強会 主催：沖縄県
2023年3月 札幌イノベーション政策勉強会～地域実情に即したスタートアップ支援政策実装論～
主催：札幌市
2022年8月 バイオ関連企業「稼ぐ力」向上応援プロジェクト 第3 回「資本政策・投資家との折衝方法」
～バイオベンチャーにおける資金調達と資本政策とインセンティブとexit～
主催：みらいおきなわ/沖縄県



渡邊 安弘

Seed Technology Capital Partners 代表



慶應義塾大学環境情報学部卒業。

日本合同ファイナンス(現ジャフコ)投資部にて投資活動を行う。その後、アイエヌジー生命保険(現エヌエヌ生命)を経て、2000年2月 独立系VCファンド、インキュベイトキャピタルパートナーズ(現インキュベイトファンドの前身)設立、情報通信関連のシードステージに特化した投資を行う。主な投資先はファンコミュニケーションズ、オーブンドアなど。

2007年2月に自然言語処理と機械学習に特化したStudio Ousiaを共同創業。

独立系ベンチャーキャピタルファンドの運用歴20年。企業の創業からIPO、M&Aまで一貫して行なってきた経験を多くの将来性ある起業家に提供し支援させていただきたいと考えております。